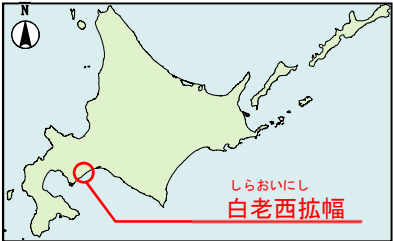


新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 国道・技術課
担当課長名： 西川 昌宏

事業の概要

事業名	一般国道36号 白老西拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自: 北海道白老郡白老町萩野 至: 北海道白老郡白老町竹浦			延長	8.3km
事業概要					
一般国道36号は、北海道札幌市から室蘭市に至る延長134kmの主要幹線道路である。このうち白老西拡幅は、北海道白老郡白老町萩野と北海道白老郡白老町竹浦に至る延長8.3kmの拡幅事業である。					
事業の目的、必要性					
当該区間の整備により、物流・救急医療・観光の主要ルートにおいて、旅行速度の向上・交通混雑の緩和や観光期渋滞を解消し、地域産業・救急医療活動・地域の観光振興やウポポイ誘客促進戦略を支援するものである。					
全体事業費	約165億円		計画交通量	約16,400台／日	
事業概要図					
 凡例 — : 国道36号の2車線区間 == : 国道36号の4車線区間 ... : 対象区間 — : 高規格道路 — : 国道(その他) — : 主要道道					

関係する地方公共団体等の意見

【北海道知事】
新規事業採択時評価に係る「一般国道36号 白老西拡幅」事業の予算化に同意いたします。
当該事業は、前後が4車線で整備された2車線のボトルネックの解消により交通混雑を緩和し、ウポポイへの誘客促進の支援、医療施設への速達性の向上、物流の効率化や地域の観光振興など、多くの効果を発揮するものと考えています。
つきましては、当該区間を令和7年度の新規事業として予算化していただきますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

対応方針(採択理由)

費用便益比が1.4と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の整備により、物流・救急医療・観光の主要ルートにおいて、旅行速度の向上・交通混雑の緩和や観光期渋滞を解消し、地域産業・救急医療活動・地域の観光振興やウポポイ誘客促進戦略等への効果が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
☒ 便益が費用を上回っている
☒ 事業実施環境が整っている

費用 便益 分析	B/C		(参考)	EIRR	総費用	128億円	総便益	172億円	(参考) 時間信頼性向上便益：40億円 CO2排出削減便益：1.0億円	感度分析		基準年
		[4%]	1.4	1.7	事業費：113億円 維持管理費：14億円 更新費：0億円	走行時間短縮便益：167億円 走行経費減少便益：1.2億円 交通事故減少便益：4.1億円			交通量変動	B/C＝1.2～1.5	(変動ケース:±10%)	令和6年
		[2%]	2.0	2.4					事業費変動	B/C＝1.2～1.5	(変動ケース:±10%)	
		[1%]	2.4	3.0					事業期間変動	B/C＝1.2～1.4	(変動ケース:±20%)	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

事業 の影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・ボトルネック対策による速達性の向上や定時性を確保する。 【混雑度(平日)】 現況:1.35 → 整備後:0.53(約6割減少) 【平均旅行速度】 現況:31km/h → 整備後:59km/h(約28km/h向上)
		事故対策	◎	・中央分離帯の整備により、正面衝突事故を抑制し死傷事故率減少による安全性の高いネットワークを構築する。 【事故危険区間】 現況:4区間 → 整備後:0区間(4区間対策) 【死傷事故率(当該事業区間の最大)】 [単路] 現況:31件/億台km → 整備後:5件/億台km(約8割減少) [交差点] 現況:109件/億台km → 整備後:11件/億台km(約9割減少)
		歩行空間	○	・市街地に歩道を整備し安全かつ円滑な歩行者空間を確保する。 【用途地域内の歩道整備率】 現況:63% → 整備後:100%
	社会全体への影響	住民生活	◎	・医療施設への速達性の向上による生活環境の改善や迅速な救急医療活動を支援する。 【白老町～二次医療救急機関(JCHO登別病院)への搬送時間】 現況:34.5分 → 整備後:25.2分(約9分短縮)
		地域経済	○	・速達性・定時性・安全性の高い物流ネットワークを構築し、物流の効率化や地域の産業振興を支援する。 【死傷事故率(当該事業区間の最大)】 [単路] 現況:31件/億台km → 整備後:5件/億台km(約8割減少) [交差点] 現況:109件/億台km → 整備後:11件/億台km(約9割減少)
		災害	○	・樽前山噴火や千島海溝沿い地震時の避難経路を機能強化し、迅速な避難及び救援・物資輸送を支援する。
		環境	○	・環境(CO2排出量)を改善する。 CO2排出削減便益:1.0億円
		地域社会	◎	・観光期の渋滞緩和による、地域の観光振興、ウポポイへの誘客促進を支援する。 【ウポポイ～登別温泉の所要時間】 現況:50.3分 → 整備後:39.0分(約11分短縮)

事業実施環境
・都市計画決定手続き完了(S.57.5.13)
・登別市長、白老町長などから、国道36号白老町北吉原地区の4車線化の要望を受けている。